

御前山ビオトープ周辺の植物等

山野に生える多年草です。春早く葉を伸ばしますが、花が咲く前に葉は枯れてしまいます。葉が枯れたあと、ヒガンバナよりひと月ほど早い8月に3～5個の花を咲かせます。葉の形がカミソリに似ているので、この名前で呼ばれます。地下の球根に毒のある、有毒植物の一つです。

キツネノカミソリ



(ヒガンバナ科 ヒガンバナ属)
(写真・データ提供 御前山ダム環境センター)

市制施行15周年記念

合併からの15年を振り返って

本市は、今年10月16日で市制施行15周年を迎えます。この15年間の主な出来事を振り返ります。

市の魚を制定 (平成26年6月制定)



清流のまちのシンボルにふさわしい魚として、市の魚を「あゆ」と制定しました。

常陸大宮市制施行記念日 (平成26年9月制定)

本市が平成16年10月16日に市制施行したことを記念し、その記念日を定めることで郷土の歴史を振り返り、ふるさと常陸大宮市への愛着と理解を深め、魅力ある常陸大宮市を将来にわたって築き上げることを目的として制定されました。

秋田県大館市と友好都市協定を締結 (平成27年10月21日)

大館市とは、1602年(慶長7年)、常陸国を支配していた佐竹氏が秋田に国替えとなり、現在の常陸大宮市を本拠地としていた小場氏(佐竹西家)も佐竹氏とともに秋田へ移った歴史的な縁がありました。平成9年、町名の由来に関心を持った大館市に住む当時の小学生が旧大宮町を訪れたことをきっかけに交流が始まり、平成26年の防災協定締結を経て友好都市協定締結となりました。

きょういくりっしせんげん

郷育立市宣言 (平成28年3月22日)

この宣言は、郷育の根幹である教育に加え、それ以外の分野でも独自の役割の中で、郷土愛を育み、家庭・学校・地域・行政の強い連携のもと市民が一体となって、郷土でも輝きをもって新しい時代を生き抜くことができる人材を育て、まちづくりにつなげていくことを広く表明するためのものです。この宣言が掲げる理想的なまちの姿を目指し、市民の皆さんとともに取り組んでいきます。

道の駅常陸大宮～かわプラザ～がオープン (平成28年3月25日)



市内で2つ目の道の駅として、岩崎地区にオープンしました。今年4月には入館者200万人を達成しました。

東京2020パラオ共和国のホストタウンに決定 (平成28年6月)

宮城県蔵王町とともに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に出場するパラオ共和国のホストタウンとして国の登録を受けました。

いきいき茨城ゆめ国体なぎなた競技会

2019年9月29日(日)～

10月1日(火)

西部総合公園体育館



常陸大宮市の人口

(9月1日現在・推定常住者)

総人口 39,952人 世帯数 16,077世帯
(男 19,699人 女 20,253人)

広報 常陸大宮 9月 第180号

発行日 令和元年9月25日

発行/常陸大宮市 編集/秘書広聴課

〒319-2292 茨城県常陸大宮市中富町3135-6

TEL 0295(52)1111 FAX 0295(53)6010

E-mail hishokou@city.hitachiomiya.lg.jp

URL <http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/>

